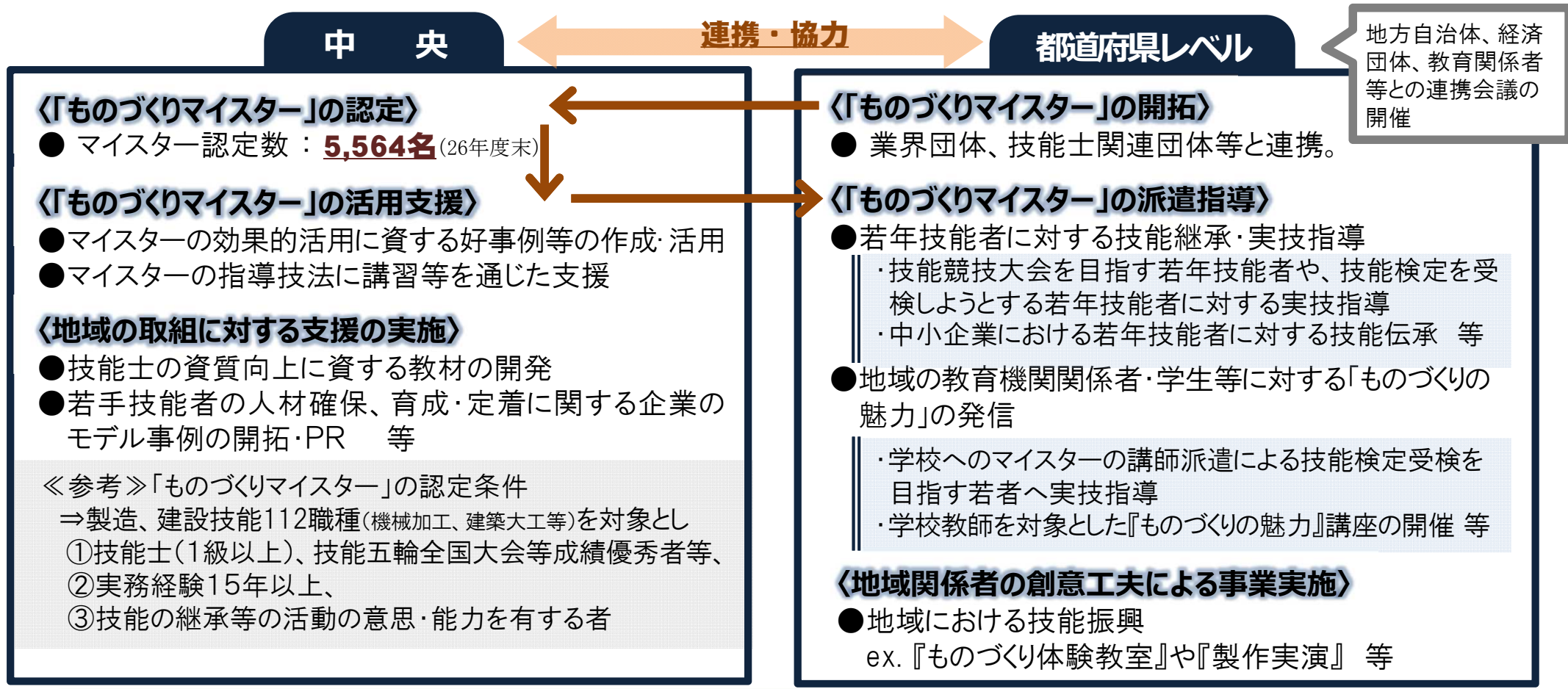


技能継承・振興のための施策を
推進すること
(施策番号 V-3-1)

添付資料

ものづくりマイスターによる技能者育成支援

- 若者のものづくり、技能離れ等の実態を踏まえ、産業活動の基礎となる技能者の育成等を図るため、「ものづくりマイスター」の開拓・認定、活用(技能検定・競技大会の課題を用いた実技指導等)による技能継承等の取組を推進するため、「若年技能者人材育成支援等事業」を実施(平成25年度～)。
- 26年度から学生生徒を含む若者にもものづくりの魅力を発信し、人材確保・育成に資する観点から、マイスターによる技能検定受検を目指す若者への実技指導等の総合的取組を推進。(「目指せマイスター」プロジェクト)



技能五輪全国大会の概要

概要 【後援：文部科学省、経済産業省、国土交通省】

- **技能五輪全国大会**は、青年技能者(23歳以下)がその技能レベルについて日本一を競うことで、若年層の技能の向上を図るとともに、広く国民にもものづくり分野等の技能の重要性・必要性をアピールすることを目的に、昭和38年から毎年開催。幅広い職種を対象とする、唯一の全国レベルの技能競技大会。偶数年度の大会は、翌年に開催される**技能五輪国際大会**＜唯一の世界レベルの技能競技大会(隔年開催)＞の選手選考を兼ねている。

第52回技能五輪全国大会の計画概要(主催：厚生労働省、愛知県、中央職業能力開発協会)

- **日程** : 平成26年11月28日(金)～12月1日(月)
 - ・開会式：11月28日(金) ・競技：11月29日(土)～30日(日) ※一部の職種の競技は、この日程に先行して実施
 - ・閉会式：12月1日(月)
- **競技会場** : 名古屋市中小企業振興会館など計13会場
- **参加者数** : 1,200人(過去最多)
- **競技職種** : 製造・建設分野をはじめとする41職種



【技能五輪全国大会の意義に関する代表的な製造業企業の認識】 【技能五輪全国・国際大会の開催(予定)地】

(株)東芝は、社内コンテストの充実を技能五輪全国大会の代替対策と位置付け、1980年代後半に参加を取りやめた。しかし、同大会への参加は、①競合他社とのベンチマークを行うことができ、自社の技能ポテンシャルを高め、イノベーションに結びつけること、②若年層のモチベーションを高め、モラルアップにつながること、③企業イメージの向上を図ることができること等の利点があることから、再度2010年から技能五輪全国大会に参加。(平成24年「ものづくり白書」(抄)より)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
技能五輪全国大会	長野県	中央(千葉県など)	愛知県	中央(千葉県など)	山形県	栃木県	沖縄県	募集中(27年7月末×切予定)
技能五輪国際大会	選考・派遣	ドイツ(ライプツィヒ)	選考・派遣	ブラジル(サンパウロ)	選考・派遣	UAE(アブダビ)	選考・派遣	未定

技能五輪全国大会の競技職種(計41職種)

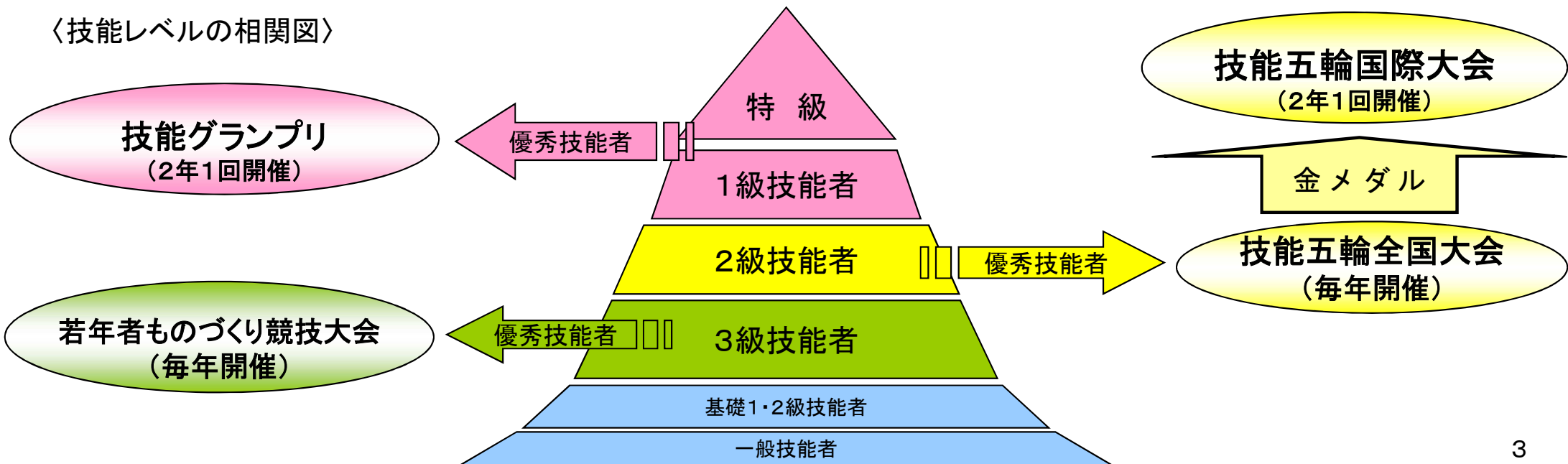
- 電子技術系(4職種) ... メカトロニクス、電子機器組立て、電工、工場電気設備
- 情報通信系(3職種) ... ITネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン
- 機械系(8職種) ... 機械組立て、抜き型、精密機器組立て、機械製図、旋盤、フライス盤、木型、自動車工
- 金属系(5職種) ... 構造物鉄工、電気溶接、自動車板金、曲げ板金、車体塗装
- 建設・建築系(10職種) ... タイル張り、配管、石工、左官、家具、建具、建築大工、造園、冷凍空調技術、とび
- サービス・ファッション系(11職種) ... 貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、西洋料理、和裁、日本料理、レストランサービス、時計修理

各種技能競技大会の概要

○若者の就業意欲の喚起や円滑な技能継承に資するため、技能五輪全国大会をはじめとする各種技能競技大会を推進している。

項目	技能グランプリ	技能五輪全国大会	若年者ものづくり競技大会
目的	技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その熟練した技能を広く国民に披露することにより、その地位の向上と技能の振興を図る。	青年技能者がその技能レベルの日本一を競うことにより、国内の青年技能者の水準向上を図り、併せて技能尊重気運の醸成を図る。 (西暦偶数年は、技能五輪国際大会の予選を兼ねる)	技能習得中の者に目標を付与し、技能を向上させることにより、若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図る。
出場資格	特級、1級及び単一等級の技能検定に合格した技能士	技能検定2級以上の技能を有する23歳以下の青年技能者	工業高等学校、工業高等専門学校、公共職業能力開発施設、認定職業訓練施設等において技能を習得中の20歳以下の者。
競技レベル	上級レベル	上級から中級レベル(技能検定2级以上)	初級レベル(技能検定3級程度)
競技職種 参加者数	建築大工、和裁等の職種 平成24年度実績:28職種 482名	技能五輪国際大会で実施されている職種、国内の青年技能者の技能水準の向上と技能尊重気運の醸成に資するものと認められる職種 平成26年度実績:41職種 1,200名	旋盤、電子機器組立て、建築大工等の工業高校等の学校等において技能習得中の者が多い職種 平成26年度実績:14職種 353名
直近の開催 (予定)地	千葉県(平成26年度)	愛知県(平成26年度)	山形県(平成26年度)

〈技能レベルの相関図〉



(参考データ)

■ 若年労働者数の推移

(万人)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
就業者 (15～34歳)	1,738	1,698	1,664	1,656	1,644
労働力人口 (15～34歳)	1,871	1,816	1,775	1,757	1,731

(資料出所)労働力調査

■ 3級技能検定受検者数の推移

(人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ものづくり職種	21,478	23,620	27,160	28,495
ものづくり職種以外	267,136	272,236	225,907	210,966
うち、ファイナンス・プランニング 職種	237,979	243,070	198,919	183,565
計	288,614	295,856	253,067	239,461

※ 「ものづくり職種」は、ものづくりマイスターの認定職種(製造、建設技能112職種(機械加工(旋盤等)、機械組立、建築大工、造園等)とする

※ 平成26年度については集計中

■ 予算額推移の内訳

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
技能競技大会等の実施 (指標2に係る事業)	421,812	488,256	401,415	530,488	418,431	577,350
若年技能者人材育成支援等事業 (指標3に係る事業)	—	—	—	3,373,914	3,534,957	3,375,109
その他の技能継承・振興に係る事業	533,702	226,215	222,402	170,576	169,367	173,069
計	955,514	714,471	623,817	4,074,978	4,122,755	4,125,528

※ 「若年技能者人材育成支援等事業」は平成25年度からの実施